



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名 株式会社 ユー・エス・エス  
コード番号 4732 URL <http://www.ussnet.co.jp>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 之弘

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役統括本部長 (氏名) 山中 雅文

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日 配当支払開始予定日

TEL 052-689-1129  
平成23年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	31,438	3.3	13,314	10.5	13,416	10.7	7,932	17.6
23年3月期第2四半期	30,423	5.9	12,050	20.2	12,117	17.0	6,744	16.2

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 7,919百万円 (16.7%) 23年3月期第2四半期 6,787百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	278.93	278.49
23年3月期第2四半期	228.62	228.52

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	148,858	120,812	80.8
23年3月期	151,636	121,947	80.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 120,306百万円 23年3月期 121,638百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	91.00	—	101.00	192.00
24年3月期	—	110.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	116.00	226.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,600	1.9	26,300	8.1	26,500	7.5	15,900	13.8	563.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	31,325,000 株	23年3月期	31,325,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	3,360,771 株	23年3月期	2,364,781 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	28,439,286 株	23年3月期2Q	29,497,607 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算短信補足説明資料は、平成23年11月10日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

(金額表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間および第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更しました。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(7) 重要な後発事象 .....	11
4. 補足情報 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の自動車流通市場を取り巻く環境は、東日本大震災によりサプライチェーンが寸断された影響などにより、国内自動車生産実績は7月まで前年同月実績を大幅に下回り、新車登録台数は1,939千台

(前年同期比23.7%減)となりました。一方、中古車登録台数は、震災後の復興需要に加え、国内販売、海外輸出ともに安定した需要に支えられ3,044千台(前年同期比3.1%減)と微減にとどまりました。(一般社団法人日本自動車工業会、社団法人日本自動車販売協会連合会、社団法人全国軽自動車協会連合会調べ)

オートオークション市場は、新車登録台数の大幅な減少を受け、新車買替時に発生する下取りや買い取り車両が減少したことから、出品台数は3,083千台(前年同期比5.4%減)となりましたが、震災後の復興需要や国内販売、海外輸出ともに安定した需要があり、成約台数は1,904千台(前年同期比0.5%減)となり、成約率は61.8%(前年同期実績58.7%)まで上昇しました。(月刊ユーストカー調べ)

このような経営環境の中、U S Sグループの当第2四半期連結累計期間は、売上高31,438百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益13,314百万円(前年同期比10.5%増)、経常利益13,416百万円(前年同期比10.7%増)、四半期純利益7,932百万円(前年同期比17.6%増)となりました。

#### オートオークション

オートオークション事業は、出品台数は1,026千台(前年同期比6.2%減)となったものの、成約台数は690千台(前年同期比1.4%増)となり、成約率は67.3%(前年同期実績62.2%)と大幅に上昇する結果となりました。また、一部のオークション会場におけるコーナー編成やキャンペーン内容の見直しなどの影響もあり手数料単価が上昇し、増収となりました。

営業利益については、減価償却費、賃借料およびのれん償却額が前年同期と比較して減少したことなどから、大幅な増益となりました。

この結果、オートオークション事業は、外部顧客に対する売上高22,094百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益12,810百万円(前年同期比11.1%増)となりました。

#### 中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、オークション相場が高値で推移したことから、台当たり粗利益が増加したことに加え、取扱台数も増加し増収増益となりました。

事故現状車買取販売は、取扱台数は微増にとどまったものの、台当たり粗利益が増加したことなどにより増収増益となりました。

この結果、中古自動車等買取販売事業は、外部顧客に対する売上高6,574百万円(前年同期比8.9%増)、営業利益422百万円(前年同期比19.3%増)となりました。

#### その他

株式会社アビジは、廃自動車や工場廃材等の取扱量が減少したことに加え、材料仕入単価の上昇もあり減収減益となりました。

株式会社U S S 東洋は、ゴム等の原材料費高騰の影響が大きく、販売価格の値上げも実施しましたが増収減益となりました。

株式会社U S S ロジスティクス・インターナショナル・サービスは、7月より輸出代行業務を開始しておりますが営業損失となりました。

この結果、その他の事業は、外部顧客に対する売上高2,769百万円(前年同期比0.8%増)、営業利益18百万円(前年同期比82.5%減)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は148,858百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,778百万円減少しました。これは、オークション貸勘定が1,394百万円減少したことや、減価償却などにより有形固定資産が1,426百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は28,045百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,643百万円減少しました。これは、オークション借勘定が326百万円減少したことや未払法人税等が254百万円減少したこと、自動車税預り金の減少などにより流動負債のその他が823百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は120,812百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,134百万円減少しました。これは、自己株式の取得により自己株式が6,328百万円増加したのに対し、利益剰余金が5,007百万円増加したことなどによるものであります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して3,029百万円減少し、26,251百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は10,150百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益13,436百万円（前年同期比16.2%増）、減価償却費及びその他の償却費2,000百万円（前年同期比13.3%減）、法人税等の支払額5,730百万円（前年同期比16.0%増）によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は3,734百万円となりました。これは主に、定期預金の純増加額3,000百万円（前年同期比400.0%増）、有形固定資産の取得による支出300百万円（前年同期比70.9%減）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は9,445百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出6,328百万円（前年同期比194.7%増）、配当金の支払額2,924百万円（前年同期比2.9%増）によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間は、出品台数が当初計画を上回ったことなどから、前回公表（平成23年8月2日発表）の連結業績予想を上回る結果となりました。

そのため、平成24年3月期の連結業績予想を、前回公表の予想から次のとおり変更しております。

なお、下期に関しましては、東日本大震災による減産の影響を脱しつつある中で、タイにおける水害の影響が懸念されるなど、自動車業界全体を取り巻く状況が依然不透明であることからほぼ当初計画のままとしております。

通期の出品台数は2,060千台から2,090千台、成約台数は1,350千台から1,360千台、成約率は65.5%から65.1%に変更し、連結業績予想といたしまして、売上高は62,600百万円を見込み、営業利益は26,300百万円、経常利益は26,500百万円、当期純利益は15,900百万円を予想しております。

なお、平成23年8月2日に公表いたしました通期の連結業績予想との差異は以下のとおりです。

（通期）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表資料 (A)	62,000	26,000	26,300	15,650	548.93
今回修正予想 (B)	62,600	26,300	26,500	15,900	563.79
増減額 (B-A)	600	300	200	250	—
増減率 (%)	1.0	1.2	0.8	1.6	—
前期実績	61,417	24,332	24,643	13,971	478.00

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計基準等の改正に伴う会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,980	30,951
オークション貸勘定	11,151	9,756
受取手形及び売掛金	2,685	2,228
有価証券	—	101
たな卸資産	973	957
その他	1,360	1,761
貸倒引当金	△76	△76
流動資産合計	47,074	45,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,002	31,109
土地	59,100	59,076
建設仮勘定	23	18
その他（純額）	3,352	2,847
有形固定資産合計	94,479	93,052
無形固定資産		
のれん	108	63
その他	1,005	894
無形固定資産合計	1,114	957
投資その他の資産		
投資その他の資産	9,074	9,268
貸倒引当金	△105	△101
投資その他の資産合計	8,969	9,167
固定資産合計	104,562	103,177
資産合計	151,636	148,858
<b>負債の部</b>		
流動負債		
オークション借勘定	11,502	11,176
支払手形及び買掛金	649	482
短期借入金	188	118
未払法人税等	4,932	4,677
引当金	493	555
その他	5,227	4,404
流動負債合計	22,994	21,415
固定負債		
長期借入金	167	137
引当金	133	171
資産除去債務	705	709
その他	5,689	5,611
固定負債合計	6,695	6,630
負債合計	29,689	28,045

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	18,972	18,972
利益剰余金	104,012	109,020
自己株式	△15,310	△21,638
株主資本合計	126,556	125,235
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43	31
土地再評価差額金	△4,961	△4,961
その他の包括利益累計額合計	△4,918	△4,929
新株予約権	31	230
少数株主持分	278	276
純資産合計	121,947	120,812
負債純資産合計	151,636	148,858

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	30,423	31,438
売上原価	13,283	13,084
売上総利益	17,139	18,353
販売費及び一般管理費	5,089	5,039
営業利益	12,050	13,314
営業外収益		
受取利息	21	23
不動産賃貸料	77	85
雑収入	85	85
営業外収益合計	183	195
営業外費用		
支払利息	4	2
不動産賃貸原価	7	8
複合金融商品評価損	100	72
雑損失	5	8
営業外費用合計	117	92
経常利益	12,117	13,416
特別利益		
固定資産売却益	9	29
貸倒引当金戻入額	22	—
その他	4	—
特別利益合計	37	29
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	17	7
投資有価証券評価損	56	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	516	—
その他	0	1
特別損失合計	591	8
税金等調整前四半期純利益	11,563	13,436
法人税等	4,742	5,506
少数株主損益調整前四半期純利益	6,820	7,930
少数株主利益又は少数株主損失(△)	76	△1
四半期純利益	6,744	7,932

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,820	7,930
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△33	△11
その他の包括利益合計	△33	△11
四半期包括利益	6,787	7,919
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,710	7,921
少数株主に係る四半期包括利益	76	△1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	11,563	13,436
減価償却費及びその他の償却費	2,308	2,000
のれん償却額	202	45
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10	△4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	52	61
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	13	38
受取利息及び受取配当金	△22	△31
支払利息	4	2
投資有価証券評価損益 (△は益)	56	—
複合金融商品評価損益 (△は益)	100	72
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△3	△21
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	516	—
オークション勘定の増減額 (△は増加)	△58	1,068
売上債権の増減額 (△は増加)	438	456
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3	△166
預り金の増減額 (△は減少)	△815	△853
その他	△891	△253
小計	13,450	15,853
利息及び配当金の受取額	20	30
利息の支払額	△4	△2
法人税等の支払額	△4,940	△5,730
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,526	10,150
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△600	△3,000
有形固定資産の取得による支出	△1,031	△300
有形固定資産の売却による収入	13	57
無形固定資産の取得による支出	△245	△61
投資有価証券の取得による支出	—	△157
長期前払費用の取得による支出	△199	△6
関係会社株式の取得による支出	—	△268
その他	△12	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,075	△3,734
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△150	—
長期借入金の返済による支出	△99	△99
預り保証金の預りによる収入	109	117
預り保証金の返還による支出	△39	△46
自己株式の取得による支出	△2,147	△6,328
配当金の支払額	△2,842	△2,924
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△244	△163
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,413	△9,445
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,037	△3,029
現金及び現金同等物の期首残高	29,681	29,280
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,719	26,251

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨン	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売 上高	21,638	6,037	27,676	2,746	30,423	—	30,423
セグメント間の 内部売上高また は振替高	211	0	211	1	212	△212	—
計	21,850	6,038	27,888	2,747	30,636	△212	30,423
セグメント利益	11,529	354	11,884	106	11,991	59	12,050

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビズの廃自動車等のリサイクル事業と株式会社USS東洋の廃ゴムのリサイクル事業であります。

2. セグメント利益の調整額59百万円には、セグメント間取引消去58百万円、のれんの償却額1百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨン	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売 上高	22,094	6,574	28,669	2,769	31,438	—	31,438
セグメント間の 内部売上高また は振替高	246	0	246	1	247	△247	—
計	22,341	6,574	28,915	2,770	31,686	△247	31,438
セグメント利益	12,810	422	13,232	18	13,251	62	13,314

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビズの廃自動車等のリサイクル事業と株式会社U S S 東洋の廃ゴムのリサイクル事業および株式会社U S S ロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業であります。

2. セグメント利益の調整額62百万円には、セグメント間取引消去61百万円、のれんの償却額1百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(自己株式の取得)

当社は、平成23年5月10日開催の取締役会および平成23年8月2日開催の取締役会において自己株式を取得することを決議し、普通株式995,990株を取得いたしました。これにより、当第2四半期連結累計期間において自己株式が6,328百万円増加しております。

(7) 重要な後発事象

(自己株式の取得)

当社は、平成23年11月8日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することおよびその具体的な取得方法について決議いたしました。

① 取得する株式の種類

当社普通株式

② 取得する株式の総数

1,000,000株（上限）

③ 取得する期間

平成23年11月9日から平成24年3月23日

④ 取得価額の総額

6,800百万円（上限）

⑤ 取得の方法

市場取引

#### 4. 補足情報

##### (1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	23年3月期	24年3月期		
	第2四半期	第2四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	304	314	3.3	626
営業利益	120	133	10.5	263
経常利益	121	134	10.7	265
当期純利益	67	79	17.6	159

##### (2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	23年3月期	24年3月期		
	第2四半期	第2四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	54	56	3.0	114
成約手数料	52	53	1.9	105
落札手数料	70	72	3.6	142
商品売上高	4	4	△8.5	7
その他の営業収入	34	33	△0.7	68
オートオークション計	216	220	2.1	439
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	40	44	8.8	85
事故現状車買取販売	19	21	9.1	41
中古自動車等買取販売計	60	65	8.9	127
《その他》				
廃自動車等のリサイクル	22	22	△0.4	45
廃ゴムのリサイクル	5	5	4.2	11
中古自動車の輸出手続代行サービス	—	0	—	1
その他計	27	27	0.8	59
合計	304	314	3.3	626

##### (3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	23年3月期	24年3月期		
	第2四半期	第2四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	12	3	△71.6	20
完工ベース	6	4	△33.6	20
減価償却費	22	19	△13.7	39